

「NPO法人子育てコンビニ」の活動について

研究協力者 熊井利廣（杏林大学保健学部准教授）

要旨

地域の子育て機能向上の要件のひとつとして、市民、とくに子育て中の親に、保健、福祉の各専門機関の存在や機能、ネットワークの役割などをわかりやすく周知することが重要である。

東京都三鷹市では、子育て中の親との協働という手法をとり、市のホームページ上に子育てに関するポータルサイトを設置した。親たちは、NPO法人子育てコンビニを発足させ、ホームページ作りを業務として受託している。

ホームページは、離乳食のレシピなど身近な情報のほか保健福祉に関わる専門機関の情報提供も行っているが、単なる紹介ではなく、親自身の取材レポートや体験談を中心とするなど、わかりやすいものになっており、多くの市民がホームページ上で、保健福祉の専門機関の機能、ネットワークの姿を見ることができている。

これは、NPO法人子育てコンビニのメンバーが、自分の子育て経験を大事にし、かつ、子育てしている親がどのような不安を持ったり、何を望んでいるかを考えて、企画、編集を行っているためと考えられる。

こうした特徴をもつホームページづくりは、子育て中の母親が参画することによって可能となったものであり、住民と行政との協働のひとつの姿を見ることができる。

I. はじめに

地域の住民が参画することによって、保健福祉の協働による子育て機能の向上や普及がより進んでいく。このことを事例をもとに述べるのが、今回の報告の本旨である。

これまで2年間にわたって、東京都三鷹市を拠点とするNPO法人子育てコンビニの活動、及び同法人が作成するホームページに関し報告してきた。

最終年にあたって、まず2年間の報告を振り返る。そして今回はとくに保健・福祉及びその連携がホームページ上でどのような形で表れているかをみたうえで、住民の参画が果たす役割

や意義を検討したい。

1. 17 年度報告 ～三鷹市ホームページとNPO法人子育てコンビニ～

平成17年度には、三鷹市の子育てに関するホームページである「みたか子育てねっと」、及びそのなかの地域・民間情報を提供するサイト「子育てコンビニ」の概要、そしてその制作を行っている「NPO法人子育てコンビニ」の活動状況を報告した。

概要は以下のとおりである。

三鷹市は、市のホームページのなかの「みたか子育てねっと」の作成を、市の第3セクターである株式会社まちづくり三鷹に委託している。

株式会社まちづくり三鷹では、「みたか子育てねっと」の一部分（地域・民間情報を提供するサイトである「子育てコンビニ」）の編集・企画など一連の制作業務をNPO法人子育てコンビニに委託している。

ホームページ「子育てコンビニ」は、離乳食のつくりかたなど子育て中の親に直接役立つものから、保健福祉に関わる専門機関の紹介まで幅広く情報提供している。専門機関や三鷹市が主管する子育て支援事業に関しては、単なる紹介ではなく、NPO法人子育てコンビニのメンバー（子育て中の親）の取材レポートや体験談が中心である。

ホームページ「子育てコンビニ」を開設するにあたって、当初三鷹市と株式会社まちづくり三鷹は、市の広報誌やチラシ等で市民に対して広く参加を呼びかけた。子育て中の専業主婦を中心に市民約 50 人がボランティアとして参加した。株式会社まちづくり三鷹では取材や編集の仕方など基本的なことから、のちには特定非営利法人の発足まで援助を行った。現在、NPO法人子育てコンビニは、ホームページ「子育てコンビニ」の制作だけでなく、『赤ちゃんといっしょ！ 三鷹おでかけマップ』の作成（三鷹市からの受託）をはじめ数多くの事業を行っている。最近では、出産した母親のインタビューを撮影したドキュメンタリー映画の製作に取り組んでいる。

2. 18 年度報告 ～子育て中の専業主婦ならではのホームページづくり～

平成 18 年度には、NPO法人子育てコンビニによるワークショップや編集会議など、ホームページの制作過程を報告した。

概要は以下のとおりである。

ホームページ「子育てコンビニ」は基本的に毎月更新される。その内容は月 1 回開催される「みんなでつくろう！子育てコンビニ」と名付けられたワークショップと編集会議を経て制作

されていく。

NPO法人子育てコンビニは、「みんなでつくろう！子育てコンビニ」について、「子育てコンビニ製作のワークショップでもありますが、実は、子育て中のママたちが、子ども連れで集まって気軽におしゃべりできるサロンのようなスタイルになるように企画されています。/2005.11.5」(『子育てコンビニ Blog』)と説明しているように、子育て中の親が子ども連れで参加しやすいように工夫している。ここでの話題が、多くは翌月以降の「子育てコンビニ」のネタとなる。例えば参加者のなかで“子どもの肌の乾燥対策”が話題になれば、編集会議で議論され、翌々月にはホームページでは『気になる冬のカサカサお肌、うちの対策』という特集が組まれる。

編集会議は、NPO法人子育てコンビニのメンバーに、株式会社まちづくり三鷹の担当者、児童福祉を専門とする大学教員が加わる。子育てコンビニのメンバーが司会進行を行う。また、企画に関する話し合い、決定、取材や原稿の進行状況の確認など、編集会議は子育てコンビニメンバーが中心となって進めている。

このように市の業務の受託とはいえ市側の単なる下請けではなく、あくまでも子育て中の母親たちが中心となって企画、取材、編集を行っている。また、ホームページの役割や意義などについてメンバー自身がそれぞれに考えを持ちながら制作にあたっている。さらに、市の子育て支援のための施策や事業に関する情報も「利用者の目線」で発信している。そして、こうしたことは「子育て中の自分だからこそ」できるのであり、「他の多くの子育て家庭の役に立つ」ことを「うれしい」と感じている。

子育て中の親にとってはホームページを通じて得られるのは、地域の子育て情報だけではない。NPO法人子育てコンビニの多彩な活動に接し、子育てしながらも社会に関わることができることを知ることができる。

Ⅱ. ホームページ「子育てコンビニ」に表れる保健・福祉の連携(ネットワーク)

地域の子育て機能を向上していくためには、市民、とくに子育て中の親に、保健、福祉の各専門機関の存在、ネットワークの役割などをわかりやすく周知することが重要である。そのためには格段の工夫が求められる。

ホームページ「子育てコンビニ」は市のホームページだが、制作をNPO法人子育てコンビニ、すなわち子育て中の親自身がつくることによって、市民に必要な情報が市民、言い換えれば子育て中の親に、より親しみやすい形で提供できていると考えられる。

ここでは、ホームページ「子育てコンビニ」のうち、保健、福祉、及び連携(ネットワーク)に関する記事を検討し、考察したい。

1. 三鷹市の保健・福祉の専門機関と連携(ネットワーク)

まず、三鷹市における保健・福祉の連携の現状をおさえておきたい。

三鷹市では子ども家庭支援センターを中核機関として保健・福祉などの関係機関の連携が図られている。子ども家庭支援センターの他、北野ハピネスセンター、児童相談所、保健センター、保育所、児童館、教育委員会、学校、幼稚園、大学病院、児童養護施設等、子どもと家庭に関わる機関による定期的な情報交換をはじめ、虐待が疑われる事例などが把握された場合には具体的支援活動が行われるための仕組みが作られている。

子ども家庭支援センターが設置された平成10年度に、子ども家庭支援センターが支援した児童虐待の事例は3件だったが、平成18年度は132件だった。ネットワークの充実とともに、児童虐待の発見数が増加したと考えられる。

現在、ネットワークは要保護児童対策地域協

議会(名称は、三鷹市子ども家庭支援ネットワーク)として機能している(図1)。

2. ホームページ「子育てコンビニ」のコンテンツ

(1)「みたか子育てねっと」

三鷹市ホームページの事業別サイトのひとつ「子育てねっと」のボタンを押すと、「みたか子育てねっと」に入る。

「みたか子育てねっと」は次のようなコンテンツから構成されている。(図2)

「相談室」(メールによる子育て相談)

「子育てNAVI」(利用できるサービスの検索)

「保育園・幼稚園・子育て支援施設」(空き情報や申し込み方法の案内)

「行政サービス」(三鷹市や東京都の子育てサービスの案内)

「ファミリーサポート」(ファミリー・サポート・センター事業の案内)

以上は、行政サービスに関するページである。なお、メールによる子育て相談の回答は、子ども家庭支援センターを中心に、その他保健センター、北野ハピネスセンター(障害児療育センター)などが連携して行っている。平成19年度の相談件数は104件と、1年間に100件前後の相談が寄せられている。

さらに「子育てひろば」と名付けた、インターネット上の掲示板を開設している。

そして、図2の「子育てコンビニ」のボタンを押すと、NPO法人子育てコンビニの作成するページ「子育てコンビニ」に入る。

(2)「子育てコンビニ」

「子育てコンビニ」の主なコンテンツは以下のようなものである(図3はトップページ)。

① **特集**(毎月なんらかの話題に焦点を当て特集としている。2007年11月号は児童虐待防止を特集した。12月はクリスマス特集。)

② **おでかけ**(トイレ情報、子連れに優しいお

店情報、三鷹の公園や遊びのスポットなど、子連れで出かけるのに便利な取材レポート。2007年12月は「図書館に行こう！」

- ③ コラム（読者からの投稿や子育てにまつわるエッセイ）
- ④ 子育て支援（保育園の地域開放事業の参加レポートや、幼稚園・保育園などの施設情報など）
- ⑤ そうだん（三鷹近辺にある相談機関等の紹介と、相談の体験談の紹介。児童相談所、子ども家庭支援センターなど専門機関取材している。）
- ⑥ てづくり（料理、工作、編み物、裁縫、離乳食レシピなど）
- ⑦ けんこう（助産師への相談コーナー、歯科医・眼科医のコラムなど。12月の「助産師さんへの相談コーナー」は「第99回 授乳中の乳製品の摂取について」）
- ⑧ あそまな（「あそまな」とは、遊びと学び。おすすめおもちゃや絵本、体操（動画）の紹介。北野ハピネスセンターのてづくりおもちゃなど）
- ⑨ 子育て支援カレンダー（保育所、児童館、子ども家庭支援センターなど、子育て支援事業・施設の行事予定などの紹介）

3. 各コンテンツで紹介される保健・福祉の専門機関とネットワーク

上記①から⑨までの中で、とくに保健、福祉分野に関するものは、「④子育て支援」「⑤そうだん」「⑦けんこう」「⑨子育て支援カレンダー」のコンテンツである。その他、「②おでかけ」では児童館が紹介されている。また、「⑧あそまな」には、北野ハピネスセンターの相談員による手作りおもちゃのコーナーがあり、「てづくりおもちゃ」を通して北野ハピネスセンターの紹介がなされている。言い換えれば発達に課題がある子どものための機関として、市内には北野ハピネスセンターが存在していることが伝えられて

いる。

また、「①特集」では、2007年11月に児童虐待防止に関して特集するなど、時機に応じて保健・福祉に関するテーマを扱っている。

このようにコンテンツのあちこちに、三鷹市の保健、福祉が登場する。

ここで「④子育て支援」「⑤そうだん」「⑦けんこう」「⑨子育て支援カレンダー」に着目して、その内容を見てみたい。

(1)「子育て支援」

「④子育て支援」は、市内の保育所、幼稚園の施設情報、保育園の地域開放事業の参加レポートである。NPO法人子育てコンビニのメンバーが、実際に子ども連れで参加したうえでのレポートが中心となっている。

一例として、図4に「助産師さんと一緒に赤ちゃん遊びましょう 参加レポート」を示した。三鷹市助産師会が主催する活動に実際に参加したNPO法人子育てコンビニのメンバーによるもので、受付から終了まで具体的でわかりやすいレポートになっている。

例えば『受付』では、「続々と赤ちゃんが集ってきます。最初に受付で名前や住所を記入して、シールにも名前を書いてママと赤ちゃんにも貼ります。住所を書くときにも「赤ちゃんを抱いてあげようか？」と声をかけていただき安心です。」と書かれている。とかく初めての場所を訪れるのは敷居が高いと感じがちだが、このような参加レポートをあらかじめ一読すると、安心を感じることができるのではないだろうか。

(2)「そうだん」

「⑤そうだん」のページは、「相談施設紹介」「相談体験談」「エッセイ」から構成されている。（図5）

「相談施設紹介」では、第1回目に子ども家庭支援センターを掲載したのをはじめ、保健セ

ンターや教育センター、児童相談所などの専門機関をNPO法人子育てコンビニのメンバーが取材、レポートしている。写真も掲載し、わかりやすい文章で「相談をしてみましょう」と呼びかけていることが特徴である。また、NPOなど一般民間機関も紹介している。

第10回目では、児童相談所や子ども家庭支援センターなど行政機関・施設を中心に構成されている「三鷹市子ども家庭支援ネットワーク」を次のように紹介している。

”子育ての悩み相談しましょう”のコーナーで、これまで三鷹市内の主な相談先を紹介してきました。実は、これらの相談先は全部一つのネットワークとして連携しているのです。

[中略]

例えば虐待の問題が起きたとき、虐待をしている親についての対応で良いのかというと、そうではなく、その家庭の夫婦の問題、虐待を受けている子どもの心のケア、場合によっては保護なども発生してきます。兄弟姉妹がいれば、その子どもたちのこともかかわってくるのです。

[中略]

とにかく家庭内に問題が起きたとき、市内にある色々な相談機関のどこかにまずは相談してみましょう。そのうしろには心強いこども家庭支援ネットワークがありますので、どんな深刻な問題でも、必ず希望を持てる良い解決方法が見つかるはずです。自分達だけで解決しようとしなくて、あきらめないでまずは身近なところに相談してみましょう。(下線部筆者)

こうしてネットワークについて、その概要と意義が語られている。取材したメンバー自身の言葉によって、「相談してみましょう」と呼び掛けているのが特徴である。

また「相談体験談」では、実際に専門機関に相談した母親の手記が掲載されている。第2回には、子どもの夜泣きに疲れ怒りに任せておしりをたたいて、自分を責めていたが、健診の際に思い切って保健センター保健師に相談し、その後母親グループに通うようになったという母親の体験談が寄せられている。(図6)。

その体験談の最後は、次のような言葉で締めくくられている。

保健センターがこんなに身近に感じたことは今までありませんでした。健診のとき思い切って悩みを相談して大正解でした。

また、健診などの機会でなくても困ったときはいつでも電話をくださいと保健師さんは気さくに言ってくれました。

保健センターは堅いところではありません。むしろ子育てに悩み、追い詰められたお母さんの心を守り、秘密も守ってくれるので、友達や親には言いにくいことならなおさら話しやすいところだといえるのではないのでしょうか。

こうした体験談に触れることによって、自分も相談してみよう、相談してもいいのだという気持ちを持つことができると考えられる。

「エッセイ」は、「相談」コーナーを担当するメンバーが連載している。読者に「力を抜いて、ゆったりと・・・」と呼び掛けている。

このように「そうだん」のページでは、「相談施設紹介」「相談体験談」「エッセイ」の3つが相まって、専門機関がより身近なものとして感じられる効果があると考えられる。

(3)「けんこう」「カレンダー」

「⑦けんこう」には、「助産師さんにしつもん！」というタイトルのページがある。三鷹市保健センターで母親学級を担当する助産師が、メールで寄せられた質問にweb上で回答するコーナー

で、連載は 100 回を超えた。バックナンバーは「赤ちゃんの健康・生活・お世話について」「離乳食」など 7 種類のカテゴリーに分類され見やすく整理されている（図 7）。各回のタイトルをクリックすると回答を閲覧できる。

また保健センターの関係では、「母親学級はこんなところ 保健センターの母親学級におじゃましました」と題して、三鷹市保健センターで行われる母親学級（全 2 回）の見学レポートも掲載されている（図 8）。「グループで助け合いながらの練習は楽しそう。」「助産師さんがグループの間を回るので、手をあげて質問するのがためられることも気軽に質問できます。」など、母親の目線に立った紹介になっている。

「⑨子育て支援カレンダー」は、保育所、児童館、子ども家庭支援センターなど、子育て支援事業・施設の行事予定などが一目のもとに見ることができるようになっている。

（4）児童虐待防止推進月間

その他、2007 年 11 月には、児童虐待防止推進月間にちなんで、トップページに「きこえるよ 耳をすませば 心のさけび 今月は児童虐待防止推進月間」を掲げ、これまで「⑤そうだん」に掲載してきた子ども家庭支援センター、児童相談所、子ども家庭支援ネットワークのページに飛ぶことができるようにした。また、オレンジリボン運動公式サイト、NPO 法人児童虐待防止全国ネットネットワーク、厚生労働省、東京都児童相談センターの各ホームページへのリンクを行った（図 9）。

Ⅲ. ホームページ「子育てコンビニ」の効果

1. 自分の子育て経験を大事にする

以上見てきたように、ホームページ「子育てコンビニ」では、三鷹市の保健、福祉に関わる機関及びその連携（ネットワーク）について、子育て中の親自身の言葉で説明されている。

このことは、どのような効果をもたらすだろうか。まず、NPO 法人子育てコンビニのメンバー自身はどう考えているのか。2007 年 8 月から 10 月にかけて、4 人のホームページ編集委員に、NPO 法人子育てコンビニの活動やホームページ全般に関して聞き取りを行ったが、次のような意見が聞かれた。

（「そうだん」コーナーの役割について）

「相談に行くとなると、怒られるんじゃないとか自分がダメだから相談に行くとか思う人もいるけれど、そうじゃなくて、困ったことがあれば何でも聞いていいし、これだけ相談先があるからどこか自分に合うところがあれば行ったほうがいい、というメッセージを送っていると思う。」

「相談機関に実際に行ってみて、こんなところでしたという話や、実際に相談した人の体験談は、単なる紹介にとどまらないでもう一步踏み込んだ感じがする。」

「困ったときに、まずホームページを見てどんなところか分かってからのほうが相談しやすいと思う。」

「児童相談所というのはヘビーな感じだけど、行ってみたらそうでもなかった。そういうことを皆さんに知ってもらいたい。」

「目線が上から、あなたに紹介してあげます、ではなくて、同じ目線で作られているところがいいのではないかな。」

これらの発言は、自分の子育て経験を大事にし、かつ、子育てしている親がどのような不安を持ったり、何を望んだりするかに思いを寄せることから出ていると考えられる。

ホームページ開設にあたって、株式会社まちづくり三鷹では「子育てを親だけの問題とせず、一般市民へと広げ、地域社会における子育てへの理解を深めるために、子育て中の保護者が子育てに関する情報を入手しやすい環境、地域社

会で情報を共有化できる環境を構築する」ことをその目的とし、手段として「市民有志を募り、子育てに関する情報の作成を行ってもらう」ことを挙げていた（財団法人ニューメディア開発協会『先進的情報技術活用型福祉支援推進 介護・子育ての分野における革新的なサービス提供に資するIT活用事業報告書』2002）。これは基本的な枠組みであり、株式会社まちづくり三鷹が内容について具体的な指示を出すのではなく、NPO法人子育てコンビニのメンバーが中心となって進める編集会議において、企画に関する話し合い、決定がなされてきた。

相談機関を自分たち自身でひとつひとつ訪ね取材しレポートすること、相談の体験談やエッセイの掲載もそのなかで企画された。そして、NPO法人子育てコンビニのメンバーは、先に述べたように、自分の子育て経験を大事にし、かつ、子育てしている親がどのような不安を持ったり、何を望んだりするかに思いを寄せている。そのために、保健、福祉各機関の紹介も、幅広く、わかりやすく、親の立場に沿ったものになっていると考えられる。

2. 子育て支援を身近なものとして実感

このような特徴を有するホームページ「子育てコンビニ」がどのような効果をもつか、その一端を示唆する、次のような事例が見られた。

2007年8月、北野ハピネスセンターに関わるやりとりが『子育てねっと』内の「掲示板」に書き込まれた。

子どもの言葉の遅れを心配する母親からの投稿が書き込まれたが、その日のうちに、別の母親が北野ハピネスセンターを紹介するコメントを書き込んだ。自分の子どもにも言葉の遅れがありセンターへ定期的に通っているとのことで、「もんもんとしているより、相談して、療育を受けられてよかった。療育と言ってもプレ幼稚園みたいな、私にとってもほっとする場ですよ。」と自分の経験をもとにアドバイスを書き込

んだ。

最初の投稿者は、センターの存在は知っているものの相談する決心がつかなかったようで、経験者のアドバイスに対して「迷っていたのですが電話してみようと思います。ありがとうございました。」と返信した。

多くの場合、専門機関の存在を知っても、だからといってすぐに相談できるものではない。「子育てコンビニ」には、北野ハピネスセンターの紹介記事が掲載されている。ここで使用されている職員手製のおもちゃは、「あそまな」のページでも紹介されている。このようにいくつにも重なるように情報がある。さらに「掲示板」に掲載した自分の悩みを読んでアドバイスを書き込んでくれる人に出会う。そして決心する。こうした経過だったと言えるだろう。

そして、重要なのは、多くの市民が、このような掲示板のやりとり、取材レポート、手作りおもちゃの記事などを見て、子どもの言葉の遅れが心配のときには市内にはこうした機関があると、リアルに知ることができることである。

その他、三鷹市の子ども家庭支援ネットワークの構成機関の機能や役割が、子育て中の親自身の言葉でわかりやすく説明されていること、また、保健、福祉に関わる機関の連携（ネットワーク）の意義について子育て中の親自身の言葉で説明されることは、ホームページを閲覧する親にとってみれば、三鷹市の子育て支援を身近なものとして実感できることである。

「みたか子育てねっと」へのアクセス数は、開設から1年後の2002年10月には4,938件だったものが、2003年10月11,941件、2004年10月24,409件、2005年10月34,658件、2006年10月42,721件、2007年7月には42,844件となった。毎年増加し、現在では、1か月当たり4万件を超えている。インターネットの性格上それらがすべて三鷹市民とは限らないが、多くの市民がホームページ上で、保健福祉の専門機関の機能、連携（ネットワーク）の姿をリア

ルに見ることができる意義は大きい。

そして子育て中の親自身が参画しているからこそ、こうしたホームページが実現できていると考えられる。

IV. まとめ

1. 東京都三鷹市では、子育て中の親との協働という手法をとり、市のホームページ上に子育てに関するポータルサイトを設置した。親たちは、NPO法人を発足させ、ホームページ作りを業務として受託している。業務の受託とはいえ市側の単なる下請けではなく、ホームページの役割や意義などについて、作成スタッフ自身がそれぞれに考えを持って企画、作成にあたっている。

2. ホームページは、離乳食のつくりかたなど子育て中の親に直接役立つものから、保健福祉に関わる専門機関の紹介まで幅広く情報提供している。専門機関や三鷹市が主管する子育て支援事業に関しても、単なる紹介ではなく、NPO法人子育てコンビニのメンバー（子育て中の親）の取材レポートや体験談が中心である。

3. NPO法人子育てコンビニのメンバーは、自分の子育て経験を大事にし、かつ、子育てしている親がどのような不安を持ったり、何を望んだりするかに思いを寄せている。そのために、保健、福祉各機関の紹介も、幅広く、わかりやすく、親の立場に沿ったものになっている。

4. 地域の子育て機能を向上していくためには、市民、とくに子育て中の親に、保健、福祉の各

専門機関の存在、ネットワークの役割などをわかりやすく周知することが重要であるが、多くの市民がホームページ上で、保健福祉の専門機関の機能、連携（ネットワーク）の姿をリアルに見ることができる。

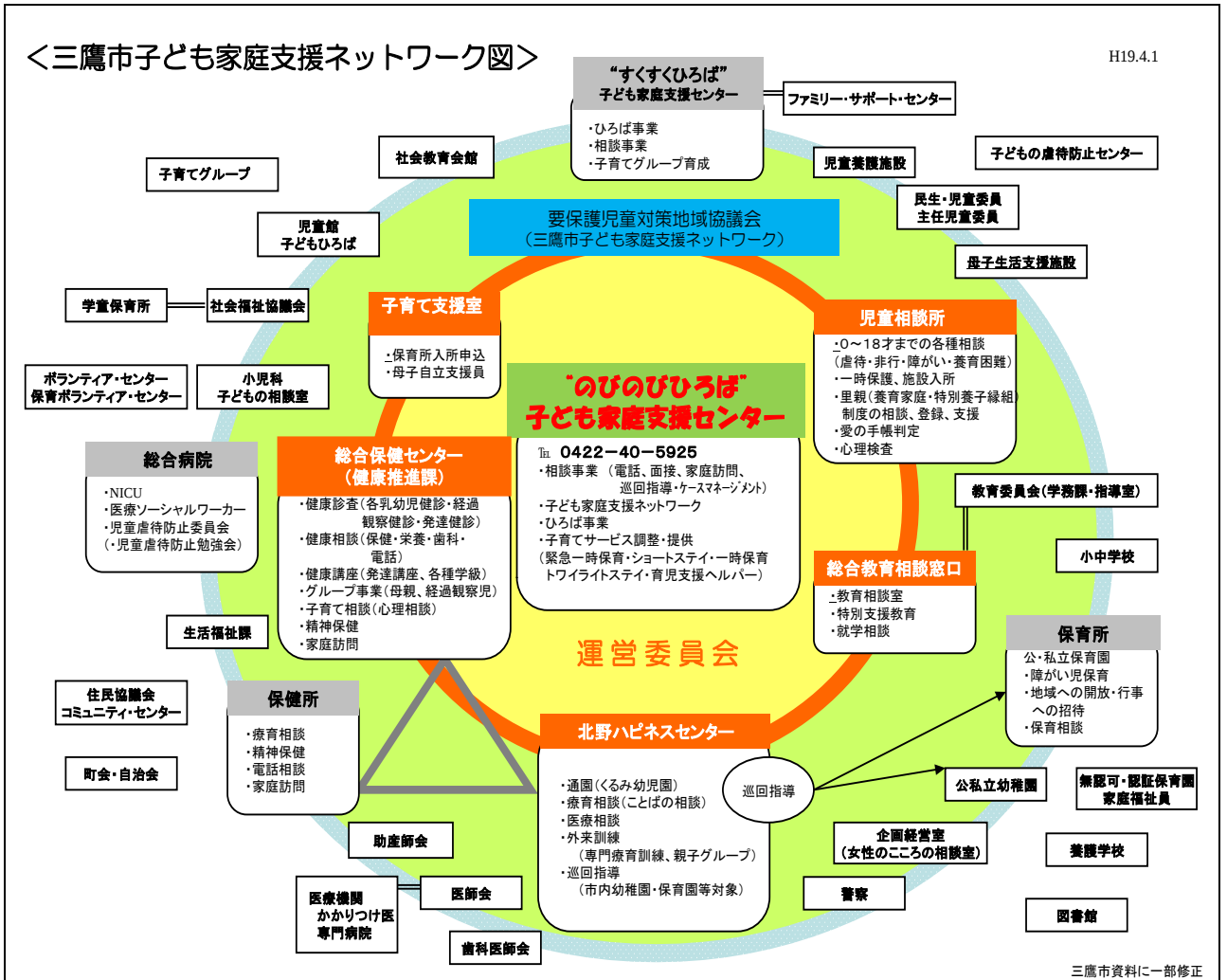
5. 市民にとって、ホームページを閲覧することを通して、NPO法人子育てコンビニの多様な活動ぶりに触れ、そのことによって子育てしながらも社会に関わることができることや子育てすることの楽しさを知ることができる。

6. こうした特徴をもつホームページづくりは、子育て中の母親が参画することによって可能となったものであり、住民と行政との協働のひとつの姿を見ることができる。

7. 女性の高学歴化・社会進出がすすんだ現在、母親にとって子育ては自分を制約するものとしてとらえられやすい。子育てと自己実現が相反するものと感じられ、子育ての不安・負担感につながりやすい状況のなかに多くの母親は置かれている。

専業主婦かフルタイム就労かの二者択一ではなく、社会へのかかわりをもちながら同時に子育ての喜びを感じられるような幅広い支援が必要と考えられる。そこには市民と行政の協働、子育ての当事者である親の参画を進める仕組みが必要である。

謝辞 本稿作成にあたっては、NPO法人子育てコンビニのメンバーをはじめ、株式会社まちづくり三鷹、三鷹市健康福祉部子育て支援室にご協力いただきました。記して感謝の意を表します。



出所：三鷹市資料

< 2 >

相談室

一人で悩んでいないで相談してみませんか？子育ての専門家があなたの相談におこたえします。

[子育て相談室](#)

両親や先生、友達にも相談できないことで悩んでいませんか？

[子育て相談室](#)

子育てNAVY

ケース別、年齢別に利用できる子育て制度やサービスを調べることができます。

[子育てNAVY](#)

保育園・幼稚園・子育て支援施設

三鷹市にある保育園・幼稚園の空き情報や申込方法、支援施設情報などを詳しくご案内します。

[保育園情報](#)

[幼稚園情報](#)

[子育て支援施設](#)

行政サービス

赤ちゃんから18歳までを対象とした、三鷹市や東京都が提供する子育てサービスをご紹介します。

[行政サービス](#)

みたか子育てねと

三鷹市・三鷹駅前まちづくり協議会

「みたか子育てねと」ってなに？

Information

What's New

2月14日「認可保育園第一次選考内定者の公表と2次募集」について更新しました。詳細は子育て支援室のホームページをご覧ください。

2月1日 保育園申込案内を更新しました。保育園案内からお入りください。

1月16日 平成20年度4月1日保育園入園の申し込み状況を更新いたしました。保育園情報からお入りください。

1月8日 平成20年度4月入所の募集児童数を掲載しています。詳細は子育て支援室のホームページをご覧ください。

1月4日 平成20年度開園予定の弘済保育所にて保育士を募集しています。詳細はこちらをご覧ください。

1月4日 保育園申込案内を更新しました。保育園案内からお入りください。

12月11日「三鷹市立東台小学校校舎建替えについて」三鷹市よりお知らせがございます。

ファミリーサポート

子育ての手助けをして欲しい人と、子育てのお手伝いができる人との相互援助活動を市が事務局となって運営しています。

[ファミリーサポート](#)

子育てコンビニ

三鷹の子育て情報を掲載した、知って楽しい市民の手作りのページです。

[子育てコンビニ](#)

子育てひろば

利用者のみなさんがインターネット上から自由に書き込める子育てに関する掲示板を紹介しています。

[子育てひろば](#)

- 三鷹市次世代育成支援対策実行計画に関するニーズ調査報告書
- かんたんページ作り
- プライバシーポリシー
- 著作権について

三鷹市のページへ
[三鷹市ホームページ](#)

sukusuku@mitaka.ne.jp

© Copyright
MACHIDUKURI MITAKA
All Rights Reserved.

< 3 >

**子育て
コンビニ
1月号**

2008年も
どうぞよろしくお願ひいたします！

初詣特集はコチラ！

子育てコンビニからの
お知らせ

現在のお知らせはありません。

おでかけ

トイレ情報、子連れに優しいお店情報、三鷹の公園や遊びのスポットなど、三鷹から子連れでお出かけするのに便利な情報を取材しました。おけいこ情報もココ！

12/26 [ババとママのリラクゼーション](#) > 第59回みやじゅんさん

コラム

皆さんからの投稿やいろいろな方からの子育てにまつわる楽しいエッセイ満載！

子育て支援

三鷹とその周辺の託児施設の取材レポート、保育園の地域開放の参加レポートや、幼稚園・保育園などの施設情報。そのほか、三鷹の子育て自主グループの紹介、ママのストレス対策もこちらです！

1/7 [ママのまほうで♪](#) > ☆魔法その7☆ 可愛い わずみ年

どうだん

三鷹近辺にある子育ての悩み、家庭の悩み、一人で悩んでいないで気軽に相談ませんか？相談できる場所の紹介、に相談に行った方の体験談の紹介です。

1/7 [nanaの一口エッセイ](#) > 第20回 お父さんたちよろしく！
「力を抜いて、ゆったりと…」

てづくり

お料理、ママの工作、子どもの工作、編み物、裁縫…手作りのことはこちら！山下味希恵先生「ママのまほうで♪」もこちらです！

1/7 [助産師さんに質問！](#) > 1歳児の噛み癖について

ほんごう

助産師さんへの相談コーナー、歯科医・眼科医の先生のコラム、子どもに優しい民間療法などの、健康情報がいっぱい！

12/26 [助産師さんに質問！](#) > 2ヶ月児のミルクの量について

12/26 [助産師さんに質問！](#) > 産後の2ヶ月の母乳分泌について

あそび

「あそび」は遊びと学び、「知的刺激を共有する」という親子の関わり方も提案しています！おすすめおもちゃや絵本、てづくりおもちゃの紹介も。

12/26 更新しました！

子育て支援施設カレンダー

児童館、保育園の地域解放など、市内の子育て支援施設のイベント情報です。

編集 NPO法人子育てコンビニ

< 図 4 >

助産師と一緒に赤ちゃん遊びましょう

参加レポート

三鷹市助産師会さんが主催されている「助産師と一緒に赤ちゃん遊びましょう」という会をご存知ですか？

これはお母さん達に出産・分娩・育児に関しての専門知識や実際のケアなどを広く提供する場として、2000年4月から三鷹市の助産師会のみなさんが自主グループ活動として行われているものです。

生後1ヶ月から1歳2ヶ月の赤ちゃんたちとお母さんがたくさん！お母さん同士の交流はもちろん、助産師さんに気軽に相談もできるいい機会です。

2004年12月20日のこの会に参加されたちゅあんさんが、会の様子をレポートしてくださいました～！

三鷹市助産師会主催の「助産師と一緒に赤ちゃん遊びましょう」に行ってきました。生後1ヶ月から1歳2ヶ月の赤ちゃん（走り回る前くらいまでです）とママを対象に、三鷹市役所の裏の福祉会館で毎月行われています。私は、娘が2ヶ月のときからほぼ毎回参加してきました。初参加のときに知り合った同じ月齢の赤ちゃんを持つママたちとはお付き合いが続いて、お互いの子供の成長を喜びあっているし、行くたびにお友達も増えるし、なにしろ大勢の赤ちゃんが集まってにぎやかで楽しいので、とても好きな会です。まだ行ったことがない方にはぜひおすすめしたいので、2004年最後の会をレポートしてみます！赤ちゃんだけでなく、パパさんたちにも、また妊婦さんたちにもたまに会えますよ。

* 受付 *

続々と赤ちゃんが集まってきました。最初に受付で名前や住所を記入して、シールにも名前を書いてママと赤ちゃんにはります。住所を書くときに「赤ちゃん抱いていてあげようか？」と声をかけていただき安心です。

* 手遊び *

まずは、「げんこつやまのたぬきさん」をみんなで歌います。そのあといろいろな手遊びを数わりながら、みんなで歌って遊びます。今日は、「グーチョキパーデー」や「一匹の野ねずみが～」や「パンパンパン屋さんでお買い物～」などを歌いました。

< 図 5 >

子育ての悩み相談しよう > 第11回総合教育相談窓口

11/7 11月は児童虐待防止推進月間です

いつになっても悩みの尽きない子育て・・・

そんなとき、ひとりで悩まないで、誰かに相談してみませんか。これから専門家や先輩ママに相談ができる施設を紹介しています。気軽に相談できる自分にあったところが見つかりますよ。

2005年7月号から、実際に相談に行かれた方の体験談を掲載しています。みんないろいろ悩んで、相談している・・・どうみなさんの参考になりますように。

2005年10月号からは、子育ての先輩nanaさんからの子育てのお話も増えました。

相談施設紹介

「子育ての悩み相談しようPartⅡ～一般機関」

- ▶ 第四回 NPO・ACTみか たすけあいワークスこもれび
- ▶ 第三回 こどもセンターリオンハウスあおぼーはあと事業
- ▶ 第二回 ルーテル学院大学付属人間成長とカウンセリング研究所
- ▶ 第一回 国際基督教大学高等臨床心理学研究所心理相談室

相談施設紹介

「子育ての悩み相談しよう」

- ▶ 第十一回 第11回総合教育相談窓口 UP！
- ▶ 第十回 三鷹市子ども家庭支援ネットワーク
- ▶ 第九回 児童相談所
- ▶ 第八回 三鷹市助産師会
- ▶ 第七回 母子自立支援員婦人相談員
- ▶ 第六回 総合保健センターの乳幼児健康相談と子育て相談
- ▶ 第五回 こたばの相談室
- ▶ 第四回 すくすく保育相談
- ▶ 第三回 教育センター教育相談室
- ▶ 第二回 女性交流室
- ▶ 第一回 子ども家庭支援センター

相談体験談「相談しました。」

- ▶ 第三回 総合保健センター
- ▶ 第二回 総合保健センター
- ▶ 第一回 教育センター教育相談室

相談コーナー「子育ての悩み相談しよう」

エッセイ「力を抜いて、ゆったりと・・・」

- ▶ 第十八回 第18回 かわいがり子育てのす UP！
- ▶ 第十七回 第17回 あなたのソウルフードは何ですか？
- ▶ 第十六回 第16回 子どもと過ごす夏休み
- ▶ 第十五回 第15回 こころに響いた講演会～「日々の生活でもう一歩をみだすために・・・」
- ▶ 第十四回 市民交流カフェ Q-Cafe スタート
- ▶ 第十三回 「黒の真実」
- ▶ 第十二回 作家長谷川健太郎を偲んで
- ▶ 第十一回 何かがおかしい時、大人にできること
- ▶ 第十回 子どもとストレスと受験と・・・
- ▶ 第九回 ボランティアって何？
- ▶ 第八回 「子どもと定めてる事件に思うこと」
- ▶ 第七回 「親子再生」虐待を乗り越えるために
- ▶ 第六回 「女の子と男の子」
- ▶ 第五回 「食で育む家族の絆」
- ▶ 第四回 「自分を聞く」
- ▶ 第三回 「抱きしめる」
- ▶ 第二回 「子育て不安」
- ▶ 第一回 「どんな子どもに育てたい？」

< 図 6-1 >

お

こ

子

そ

て

け

あ

子育てひろば(産前産後)

赤ちゃんを育てながら子育てを学ぶ

産後ケアセンター

産後のマタニティ

産後ケアセンター

産後ケアセンター

相談しました。

第二回

相談しました。第二回は、小さなお子さんをお持ちのママさんの投稿です。

相談先は、**総合保健センター**。

結婚して三鷹に移ってきて2年、三鷹での友達もできないまま妊娠し、仕事を辞め、出産をした私は産後うつっぽくなっていました。加えてその日は、当時4ヶ月だった息子の数日前から一晩中続く夜泣きにほとほと疲れ、寝不足で頭は痛み、苛立ちはすでにピークでした。

深夜、子供が泣き叫び出しました。おっぱいをあげても、抱っこしても、何をしてもだめ。苛立ち、あせり、いとおいはずの息子が嫌でたまらなくなり、そしてとうとう私は怒りに任せて泣いている彼のおしりを叩いてしまいました。叩いたからといって4ヶ月の赤ちゃんが泣きやんでくれるわけがありません。いっそう激しく泣き出した息子をぎゅと抱きしめ、私は「自分は何かをやってしまったのか」と怒りを暴走させてしまった自分を、小さなからだに向けてしまった紛れもない暴力を、責めて責めて悲しくて悔しくて泣いて、そして助けてほしくて泣いていました。

結果的にその明け方から息子は熱を出し、熱が下がった後、2、3日で夜泣きもおさまりました。具合が悪くて夜泣いていたのだとしたら本当にかわいそうなことをした。その後も私は自分を責め、同じような状況になった時に私はまた息子に手を上げてしまうのではないかととても不安でした。

そして保健センターでの3～4ヶ月健診のとき、思い切って保健師さんに息子に手を上げてしまった事の次第、今後もしやうかもしれない不安をすべて打ち明けてみました。とても勇気の要ることでした。保健師さんは私を責めませんでした。よく打ち明けてくれましたね、と言いい、

< 図 6-2 >

どうしたらいいのかを一緒に考え、保健センターでのグループを紹介してくれました。

週一回のそのグループでは託児があり、お母さんは子供と離れて悩みを話し合ったり保健師さんの話を聞いて学んだりして、それぞれが抱える問題を解決していききました。決して堅苦しいものではなく、子供と離れてざっばらに話し合える時間が持てることでストレス解消できる効果もかなりあったと思います。

グループは期間限定のもので、私の参加していたグループも活動を終了しました。私も育児に慣れてきたせいもありますが、産後うつから脱出し、時には腹の立つこともあるけれど今は上手にイライラとつきあいが育児を楽しめるようになりました。

保健センターがこんなに身近に感じたことは今までありませんでした。健診のときに思い切って悩みを相談して大正解でした。

また、健診などの機会だけでなく困ったときはいつでも電話をくださいと保健師さんは優しく言ってくれました。保健センターはお堅いところではありません。むしろ子育てに悩み、追い詰められたお母さんのこころを守り、秘密も守ってくれるので、友達や親には言いにくいことならなおさら話しやすいところだといえるのではないのでしょうか。

ワムママ

このページトップへ

「そうだん」トップへ

2005年8月号

※は「自然に育つ赤ちゃん」さんからお借りしています。

< 図 7 >

お

こ

子

そ

て

け

あ

子育てひろば(産前産後)

赤ちゃんを育てながら子育てを学ぶ

産後ケアセンター

産後のマタニティ

産後ケアセンター

産後ケアセンター

助産師さんにしつもん!

バックナンバー

困ったこと・わからないことがあったらまずチェック！
下記カテゴリ名をクリックして、いままでの質問をチェックしてみてくださいね♪

- 赤ちゃんの健康・生活・お世話について
- 母乳・ミルクについて
- 離乳食
- ママの体のこと
- アロマテラピーに関すること
- 妊娠中のこと
- その他

赤ちゃんの健康・生活・お世話について

第85回 クーハンの移動での揺さぶられっこ症候群(3、4ヶ月)

第84回 トレーニングマグを嫌がります(8ヶ月)

第83回 夏場の赤ちゃんの衣類(2ヶ月)

第81回 1才8ヶ月の女児の便秘について

第79回 「だっち遊び」について(5ヶ月)

第74回 日焼けと肌の乾燥について(6ヶ月)

第73回 ゆぶられっこ症候群について

第71回 生後1ヶ月の乳児湿疹について

第69回 花粉症のケアについて(3歳)












■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

三鷹市総合保健センターの 母親学級はこんなところ！

三鷹市総合保健センターの母親学級におじゃました！



三鷹市総合保健センターでは、毎月母親学級と両親学級が開催されています(受講料無料)。母親学級は全2回の講座です。妊娠16週から参加できるこの講座を見学させていただきました！

講座は予約制で、対象は初めての妊娠のママです。16～32週の受講がオススメです。

一日目は、歯のお話と、妊婦体操や呼吸法の練習。

二日目は、赤ちゃん誕生のビデオを見た後、妊娠中の体のケアや赤ちゃんのお世話のしかたなどを習います。

今回は二日目を中心に見学させていただきました。

1回の講座は約3時間。母子手帳を預けて(受講修了のスタンプがもらえます)受付。お友達づくりに役立つように、地域別で4つのグループ(1グループ8～8人ぐらい)に分かれるように席が決められています。

「妊娠中はトイレも近くなるし、のども渴きやすくなるので、自由に席を立ってくださいね」という優しい配慮がうれし～♪冷たいハーブティーとほうじ茶が用意されていました。

さて一日目。

最初のプログラムは、歯のお話です。

市内の歯医者さんが妊娠中の歯のケアや、赤ちゃんの歯のお手入れや状態について、スライドをまじえながら詳しくお話してくださいました。質問なども受け付けてくれますよ。

歯のケア、といえば、保健センターでは、「プレママのお口の健診」という講習会があり、妊婦さんならどんなでも参加できるそうです。

後半は、参加者同士コミュニケーションをとる時間と、それから、マタニティエクササイズや呼吸法などについて、実際にやってみます！












■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

■子育てでかかけ(国・自治体)

「きこえるよ 耳をすませば 心のさけび」

今月は児童虐待防止推進月間です

「きこえるよ 耳をすませば 心のさけび」

11月は児童虐待防止推進月間です。

自分のこと・周囲のこと、
子どもや家庭のことで気になることがあったら、
関係機関に相談しましょう。

相談施設については、
子育てコンビニの「[そうだん](#)」の以下のページも参考にしてください。

- [子ども家庭支援センター](#)
- [児童相談所](#)
- [三鷹市子ども家庭支援ネットワーク](#)

オレンジリボン運動、児童虐待防止推進月間については、
以下のサイトもご覧になってみてくださいね！

- [三鷹市の取り組み](#)
-  [オレンジリボン運動 公式サイト](#)
- [NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク](#)
- [厚生労働省](#)
- [平成19年度「児童虐待防止推進月間\(11月\)」の実施について](#)
- [東京都 児童相談センター・児童相談所](#)